

令和6年度「京都府虐待防止権利擁護研修(事業所コース)」研修参加のみなさまへ
【演習事前課題 2 種】 回答のお願いについて

「京都府虐待防止権利擁護研修(事業所コース)」について、充実したよりよい演習内容の確保とスムーズな演習進行を行うために、演習事前課題 2 種をお願いしております。演習事前課題については下記の通りですので、期限までにそれぞれの課題の指示に従い回答または準備いただきますようお願い申し上げます。

※なお演習事前課題については、京都府社会福祉協議会HP内研修課ページに掲載しております。回答フォームデータを用意していますのでダウンロードして使用してください。

演習事前課題A

虐待事例が 1 件提示されます。その事例について質問が出ます。その事例を読んで、登場人物の関係性、現場の状況などを理解し、あなたが最善と思われる答えをお書きください。(ホームページに掲載された「【事例演習課題】2024 京都府障害者虐待防止権利擁護研修(事業所コース)」を使用します。質問回答は「演習事例事前課題回答フォーム」にお願いします。(A4 用紙裏表印刷 質問 1-1～質問 4)

※演習事例及び回答フォームのデータはどちらも府社協ホームページに掲載しています。下記の方法で所定の場所からダウンロードしてください。

京都府社会福祉協議会 HP➡各部署のご案内➡研修課➡研修を受講中の方々へ➡事前課題・課題フォームはこちら➡京都府障害者虐待防止権利擁護研修関連はこちら➡令和6年度京都府障害者虐待防止権利擁護研修事前課題(演習事前課題 2 種)

注:回答した本編とコピーの合計2部を研修当日に持参してください。コピー1部を提出していただきます。

演習事前課題B

研修企画についての課題です。当日の研修の最後にあなたの事業所で行われている研修について考えるワークがあります。研修を行っている事業所はその内容を思い浮かべながら考えてください。まだ行っていないまたは企画はしているという事業所は、企画立案を考えてみてください。初めて研修企画を行う方は、担当講師による見本シートを掲載しましたので、参考にしながらわかる範囲でワークシートを埋めてみてください。

※ワークシートのフォームデータも事前課題 A と同じ場所に掲載しておりますのでご利用ください。

注:回答した本編をそのまま持参してください。こちらの課題のコピーは必要ありません。研修で学んだことを参考にワーク中に加筆修正しワークシートを完成させます。

ワークシート内項目:①研修テーマ(タイトル)※副題があっても可 ②ねらいと目標※何に課題があり、何を職員に伝えたいか a)サービスの質の観点で課題であると認識していること b)前述 a)の課題から考えた、研修のねらいや目標 ③対象者・参加人数※事業所名や職種、役職等で記載する ④開催日時※〇月頃、などでも可 ⑤会場 ⑥研修方法※職場にあった複数の組み合わせが望ましい(講義、DVD、セルフチェック、事例検討、個人ワーク、グループワーク、ロールプレイ、その他) ⑦タイムテーブル(例 13:00~14:00 60分など)⑧講師(指導者) ⑨必要経費 ⑩使用する機材・教材・文房具等 ⑪企画・運営担当者※委員会等の組織化をしても良い ⑫欠席者への対応※非常勤職員を含む全ての職員が研修を受ける必要があります。欠席者への対応方法を定めましょう

お問い合わせ先

京都府社会福祉協議会 京都府福祉人材・研修センター 研修課(担当:八木)

電話:075-252-6296 FAX:075-252-6312